

第3部 恵まれない子供たちと共に

～ 子供たちを受け入れる② ～

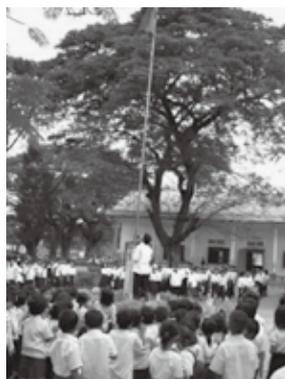
文責
平和教育マスター
新井 榮



施設を運営していくためにはまず、子供たちの食事などの世話をするお母さんの人と、また外部との関わりが多くなるので通訳も必要です。それでお母さん役には村長さんの奥さん、そして通訳と施設に泊まり込んで子供たちの世話をするお兄さん役の現地人を雇いました。いよいよ子供たちの受け入れです。受け入れ先は、強制返還された子供たちを受け入れている以前見学した施設です。こことは、子供たちの受け入れについての打合せはすでに終わっていました。それで受け入れ準備ができたことを知らせてやると、1週間後に4人の男の子を連れて来たのです。

しかし、この子たちの内3人は私たちが受け入れの対象としていた14歳以下ではありませんでした。そればかりかこの子たちは、働くためにタイへ行き働いている所を見つかり強制返還された子でした。私たちの会は、人身売買によって強制返還され、自国に戻っても行き場のない子供たちを救出することを目的としていました。そして救出した子には、教育を受けさせ自立させるという会の目的から14歳以下の子を受け入れの条件としていたのです。しかし、条件が合わないということで断ることもできず、今後のことも考え受け入れることにしました。もう1人の子は12歳の歩行困難な小児麻痺の子でした。この子たちはいずれも一定年齢に達していながらほとんど学校には行けなかった子たちです。

それでまず学校に通わせたいという思いから翌日、この子たちの入学手続きのため子供たちを連れて通訳と学校に行きました。学校はとても好意的で3人の上の子たちは3年生にそして小児麻痺の子は、1年生に入学を認めてくれたのです。



公民館図書室

開室日 毎週火～日曜日 9時～17時

☎ 早来:22-3224、追分:25-2565

新しい本がたくさん入りました！早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

早来公民館

〈一般書〉

北海道の海岸特選釣り場ナビ(道新スポーツ週刊釣り新聞ほっかいどう)/志麻さんのベストおかず プレミアムなほぼ100円おかず(タサン 志麻)/スナックキズツキ(益田 ミリ)/その扉をたたく音(瀬尾 まいこ)/湯どうぶ牡丹雪 長兵衛天眼帳(山本 一力)

〈児童書〉

君は「3.11」をしていますか？東日本大震災から10年後の物語(細野 不二彦ほか)/マークで学ぶSDGs 街で見つかるマーク(蟹江 憲史)/石たちの声がきこえる(マーグリート・ルアーズ)/にげてさがして(ヨシタケ シンスケ)/ノラネコぐんだんと金色の魔法使い(工藤 ノリコ)

追分公民館

〈一般書〉

江戸問答(田中 優子、松岡 正剛)/ドラえもんを本気でつくる(大澤 正彦)/ピリカ(半田 菜摘)/父と子の絆(島田 潤一郎)/クララとおひさま(カズオ・イシグロ)

〈児童書〉

現地取材！世界のくらし 4 モンゴル(関根 淳)/クジラをめぐる冒険 ナゾだらけの生態から対立する捕鯨問題まで(石川 創)/ふたつの月の物語(富安 陽子)/しりとりに(安野 光雅)/みみずくと3びきのこねこ(アリス&マーティン・プロベンセン)

今月の展示テーマ

『雨が降ったら図書室へ』

風薫る五月。晴れた日に家のなかにいたらもったいない！コロナ禍といえども、畑仕事や山菜採りなど野外に出るのに絶好の季節です。おひさまが出たら「早く外へ！」と気持ちをはやります。雨が降ったら、体も心もクールダウン。のんびり読書はいかがですか。アウトドアや野遊びの本、またリラックスできるような本を展示します。どうぞご利用ください。

図書室開室日 火～日曜日 9時～17時

※他にもたくさん本を揃えています。ぜひご利用ください。